

ThorensTD124 の導入(6) ーフォノイコライザーの検討(1)ー

1. 始めに

前報(5)までのトランスとカートリッジに引き続き、フォノイコライザーについて試聴していきます。

2. ThorensTD124 の試聴方法

前報(5)までは、若松通商の Maraz7 タイプのプリのフォノステージ経由で聴いてきましたが、今回は、Brooklyn DAC+のフォノ入力で試聴します。

Brooklyn DAC+のフォノ入力は、MC ダイレクトポジションと MM ポジションがありますが、これまで経験からトランス経由の MM ポジションを選択します。

カートリッジは、SPU Synergy とし、トランスを前報(4)においてニュートラルで、もっとも細かいニュアンスが聴き取れた My Sonic Stage 1030 を使用します。

試聴音源は、前報(5)と同様、聴きなれた下記を使用しました。

LONDON SLC 1138

ファリャ 三角帽子

アンセルメ指揮スイスロマンド

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュユンコンサート

harmonia mundi(Deutche) KUX-3248-H

ミトマニア

ベーレン・ゲスリン

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

3. ThorensTD124 の試聴方結果

Brooklyn DAC+のフォノ入力を My Sonic Stage 1030 のトランス経由の MM ポジションとし、その出力を TruPhase に入力します。なお、Brooklyn DAC+は、これまでの経験から、ミトマニア以外の下記の盤について位相を反転させます。

三角帽子は、音の立ち上がりもよく、見通しの良い音がします。

チェンバロ協奏曲は、すっきりとして、ディテールの再現も良く、チェンバロとア

ンサンプルの音場表現もよく出ています。

ミトマニアは、定位がしっかりしており、ボーカルも明快で、バックの古楽器の質感も十分です。

倍賞千恵子は、伸び伸びとした歌唱とバランスのとれたバックの音がします。

ミトマニア以外は、**Brooklyn DAC+**で位相を反転させた効果もあって、上記すべてにおいて、定位がしっかりして音場表現が向上しています。

4. まとめ

Brooklyn DAC+のフォノ入力は、**My Sonic Stage 1030** のトランスの効果もあり、伸びやかですっきりとした音がします。この **Brooklyn DAC+**では、位相反転を活用できるメリットがあります。

以上